

# 1. はじめに

## (1) 見えてきたもの

賑わい・交流の創造による「人の流れづくり」に向けて、宇島駅周辺の市街地環境および求菩提山に代表される自然環境、それぞれのさらなる利活用を図っていく、というテーマで昨年度（令和3年度）にスタートを切ったハレノヒ実現プロジェクト。この事業を通して今、私たちに見えてきたものは、以下の通りです。

- グランドデザインが提示され、プロジェクトがこれから進む方向が見えてきた
- 少ないながら、まちの未来を自分たちの手で描いていきたい、と思う市民が見えてきた
- 大きなものではないが、空間がリノベーションされ、まち並みの変化が見えてきた
- 行政と民間とのそれぞれの役割が明確になり、効果的な事業の進め方が見えてきた

今年度（令和4年度）は、これらの状況を基盤に、蒔いた種を発芽させること、そして次年度以降（令和5～6年度）にしっかりと育て、収穫できる状況をつくっていくことが求められます。そのために、昨年度より活動を始めているチームに新たなメンバーを加えたより実行力のある体制を整えました。

私たちチームが、商業者・市民・行政・団体等と一体となり、考え、動いていくことで、どこの真似でもない、豊前市オリジナルのまちの未来像（ビジョン）を描き、実践（アクション）を生むことができると確信しています。

## 【昨年度（令和3年度）作成したグランドデザイン】

**豊前市「ハレノヒ」実現プロジェクト：活躍拠点整備グランドデザイン**

**活躍するための拠点をづくり、ひとりの活躍をつなぐ、活躍が生まれ続けるまちになる！**

ハレノヒのコンセプトは「ひとりひとりが主役となる」です。この事業が目指すものは、まちで活躍する大人の変容、次代を担う若い世代に伝え、このまちで働く・暮らす能力を感じてもらうことです。「働いてみたい、暮らしてみたい」という気持ちを、世代を超えてつなげていきます。

そのために、ひとりひとりが活躍するための拠点として、宇島駅周辺の中心街や求菩提山の麓に広がる里山エリアの地域資源を活用した拠点を段階的につくっていきます。そして、まち全体の動きとなるよう対象をひろげながら、持続する仕組みを整え、活躍が生まれ続けるまちをつくっていきます。

**◎産学官民が連携して取り組みます！**

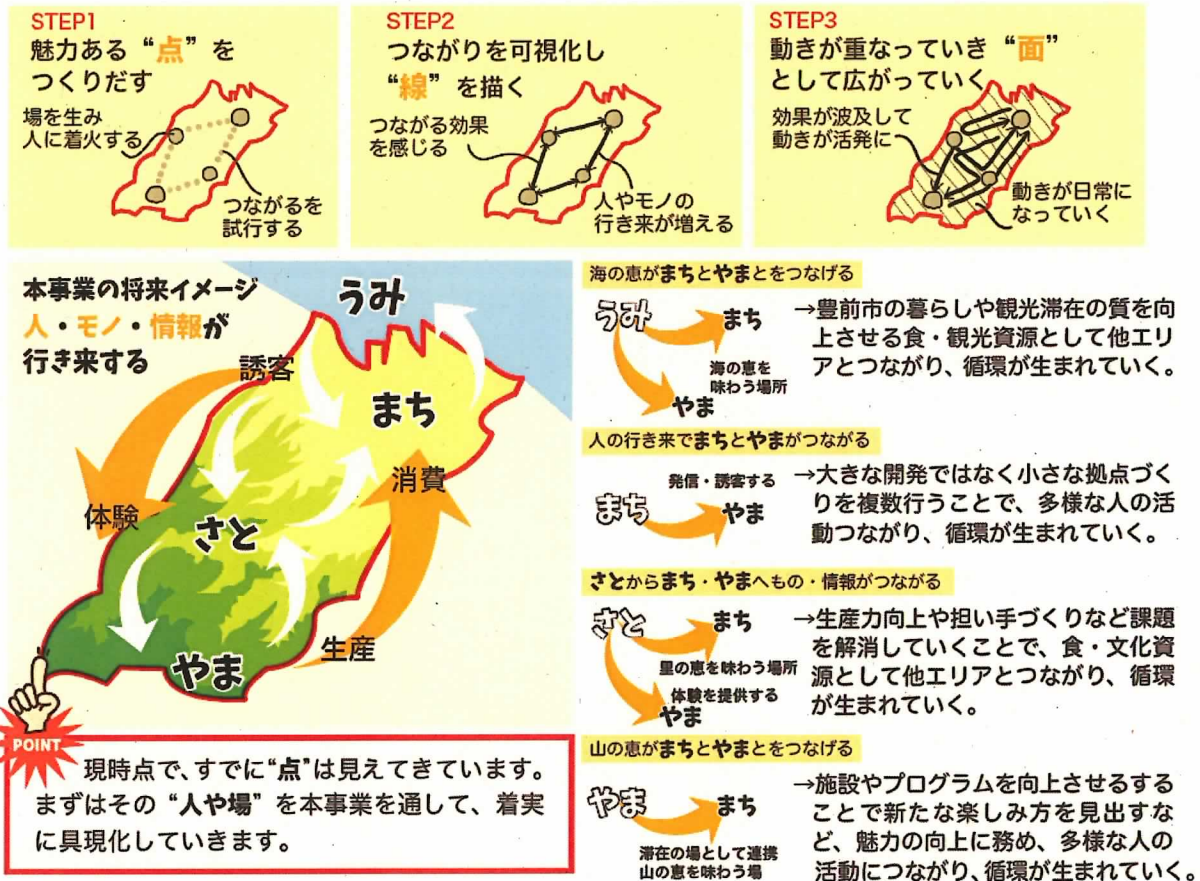
- 行政（豊前市役所） 方向性の提示、関連施策との連携、プロモーション
- 企業・市民・NPO等 サービスの実現化、人材・資金等の提供
- 大学・高校等 専門性を生かした助言、人材の提供
- 観光協会 各種連携の調整、プロモーション

	2021/R3		2022/R4		2023/R5		2024/R6		目指す姿	KPI
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
<b>まちを元気づける仕組みづくり</b> まちの賑わいやまちなみ	<b>活躍拠点1 アップル拠点</b> うま・まち/まよ・やまに、4つの活躍拠点を段階的に形成していきます。まずは、ハレノヒ実現に向けて蓄積する活動拠点をづくり、そこを拠点に、まち・やまの資源の巻き上げを行っています。空き店舗を活用したハレノヒ活動拠点								⇒活躍する拠点がまち/やままでできている	平均滞在人口 19,271人 -20,000人 (+729)
	<b>活躍拠点2 まちの玄関口</b> 駅・駅周辺の巻き上げを通して、駅の前ランシヤルを再設計した上で、玄関口のあり方・活用方法を議論し、最終的にはまち全体への波及を目指す 宇島駅・周辺の建物を利用した発信拠、駅周辺のあり方を考える「宇島駅まちづくり」 駅・駅周辺一帯の巻き上げ 駅周辺一帯を活用したイベントや交流コンテンツの展開								⇒活躍から生まれた新たな「資産」が発信されている	豊前市の総生産額 978億円 -1049億円 (+71)
	<b>活躍拠点3 交流・滞在・ビジネスの場づくり</b> 賑わいづくりに向け、既存建物を活用した交流・滞在・ビジネス機能のモデルを策定し、実証化や個別拡大を図る 資源の活用・コンテンツ化 高層階の既存建物を活用した、まちの交流・滞在・ビジネス機能の常設化 新たなサービスの提供 滞在・ビジネス機能の実証および実証実験 滞在・ビジネス機能の常設化 交流・滞在・ビジネス機能の常設化 新たなサービスの提供								⇒通常に活躍が生まれ続けられる体制ができています	転入者数 792人 -860人 (+68)
	<b>活躍拠点4 自然体験拠点</b> やまの資源を活用して新たな自然体験のコンテンツをつくり、実証を通して巻き上げ、そのシンボルとなる場を形成する 資源の活用・コンテンツ化 やまの既存スペースを活用した新たな自然体験の実証実験 新たな自然体験のシンボルづくり 新たな体験コンテンツの提供									体験型イベントの開催回数 6回 -26回 (+20)
<b>まちやまをつなぐ仕掛け</b> マルシェの試行 (既存空間の活用可能性の検証)	<b>まちやまの資産を、市全体に広げ、域外に売り込め仕掛け</b> コンテンツのパッケージ化 プロモーション									
<b>人材の発掘/参画と応援の獲得</b> ハレノヒセミナー/未来会議	<b>活躍人材の定着</b> 新たな雇用の創出 チャレンジ人材による創業									
<b>財源を市へ呼び込むための仕組みづくり</b> 企業優遇と納税等を活用した活躍財源の確保	<b>持続可能な体制づくり</b> 体制の検討 運営母体の組成									

## (2) 構想から実現へ

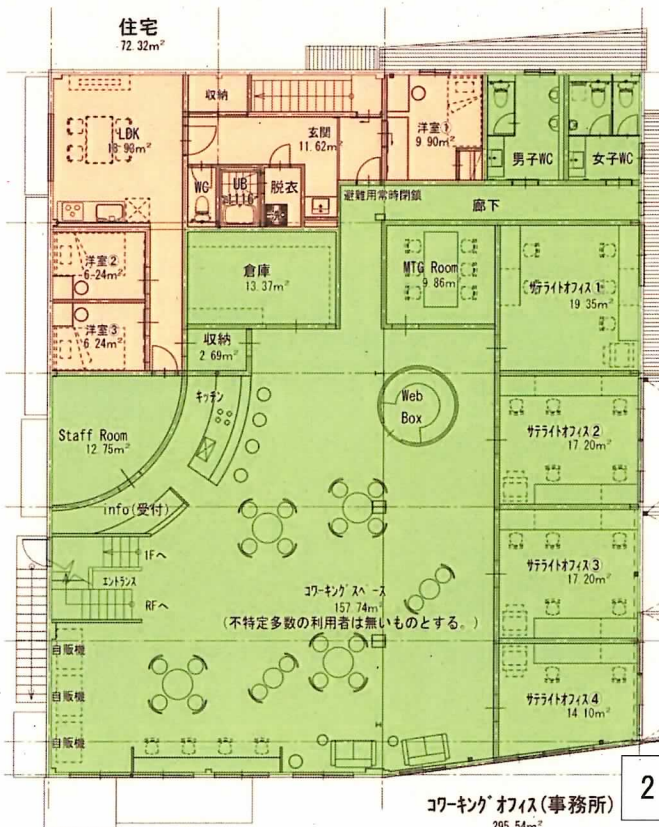
「ひとりひとりが主役」を実現するために想いをカタチにしていきます。

これまで多くの市民、行政等が参画し試行錯誤しながら構想を描いてきた「ハレノヒ実現プロジェクト」はいよいよ実現へ向けて前進していくフェーズです。以下に示す段階的な計画で一つひとつの事業を着実に前進させていきます。

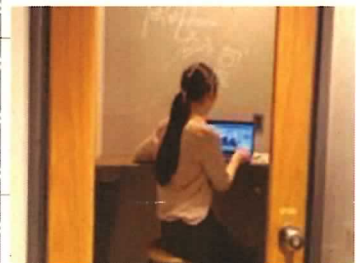
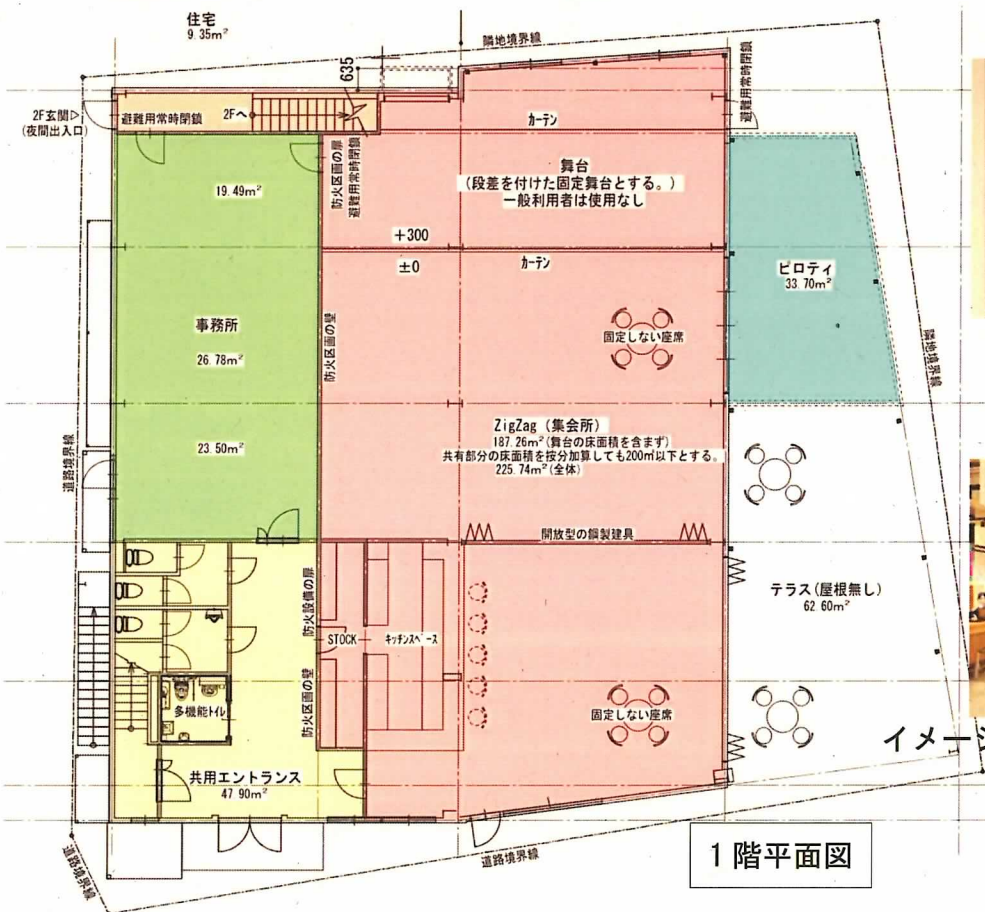


(6) 環境整備関連事業【ZigZag の環境整備】

豊前市の働き方、お仕事の新たなカタチを模索して“関係人口”を創出・拡大することを通して地域活性化を図るための場と機会をつくるのが目的です。豊前市内のプレーヤーと市外、県外のプレーヤーが混ざりあい、行き来しながら協働することで、さまざまな地域が活性化するハブとしての拠点の構築として、サテライトオフィス、コワーキングスペース、カフェ、ステージ、宿泊施設などの要素で構成されます。



イメージ|サテライトオフィス  
月貸しの小さな事務所



イメージ|テレビ会議  
遮音された小部屋



イメージ|コワーキングスペース  
共有の事務作業空間

(7) プロジェクト推進・企業誘致のためのプロモーション【周知PR/WEB サイト】

●特設サイトを開設して事例を発信

地域や団体などが連携して新しい取り組みが生まれた事例、地域の課題解決に至った事例を紹介するメディア（web サイト）を開設し、「地方にサテライトオフィスをつくる」事例を周知しました。

The screenshot displays the ZigZag website interface. On the left, there's a large image of a bright, modern office space with people working at tables. Text on the page includes 'ワクワクは、いつもココから動き出す' and 'ご予約はコチラ'. On the right, a 'サービス内容' (Service Content) section features a floor plan diagram for the 1F and 2F levels. The 1F plan shows three numbered areas: 1 (Office), 2 (Rental Space), and 3 (Cafe). The 2F plan is partially visible. A legend on the right lists: 1 オフィス, 2 レンタルスペース, 3 カフェ. Below the floor plan, there's a phone number '0000-00-0000' and a note '無料で内覧する'.

ジグザグの想い

1人1人が主役になれるキッカケを作りたい。  
 そんな思いからジグザグは立ち上がりました。  
 人は1人では微力な力かもしれない。  
 だけど、無力ではない。  
 その力は、人と人が繋がり合うことで大きな力になる。  
 いつもココから面白い事を発信し、  
 イキイキと働いてほしい。  
 ワクワクと楽しんでほしい。  
 それがみんなを元気にする。  
 それが、ジグザグに込めた想いです。

The photograph shows a modern office interior with a large, colorful geometric sculpture in the foreground. A text box on the right contains the following information:

**そもそもジグザグってどんなところ？**  
 「遊び」と「働く」が融合したエンタメワークスペース。  
 ジグザグは、あなたの「アイデア」と社会や地域をつなぐ拠点です。  
 福岡県直轄市にある歴100年を超える旧工場をリノベーションして超大型地方型サテライトオフィスとして2023年4月に誕生しました。  
 多様な働き方のニーズに対応したシェアオフィス、コワーキングスペースに加え、カフェ・イベントホールを提供しており、集う人が無敵につながって新たな価値を生み出すコミュニケーションを促します。  
 ここを据置る拠点を日本の「はたらく」をもっと自由に、もっと楽しめる。  
 そして、ここがZigZagである事で、入室ジグザグ方向にどんな盛り下がりがあっても乗車を促して戻き流せば誰でも必ず右肩上がりへと駆け登れる。  
 そんな未来を提供できる存在でありたい。  
 それが私たちZigZagの願いです。